

半日村の感想文

先日、孫が出演する学芸会を見ました。
小学校3年生99人による劇です。
題名は”半日村”です。

劇の内容について紹介します。
”半日村”その名とおり半日しか日が当たらない村の話です。
背後に高い山があり昼を過ぎないと日が村に当たらないのです。
村に住む人々にとって日当たりの良し悪しは死活問題につながります。
皆さんも知っての通り農作物の生育には太陽の光は欠かすことの
出来ない大切なものです。
作物、特に米の収穫は極めて少なく、村人は元気がありません。

村人達は悪い村に生まれたとっていました。
またこれは一種の”宿命”とあきらめていました。
大人達は太陽の光をさえぎっている、じゃまな山を
取り崩すなどという発想はなかったのです。

しかし半日村には一平と言う心のやさしい子供がおりました。
一平はある晩両親があつた山さえなかつたらと嘆くのを聞きました。
一平はこれ聞き、次の朝から袋を担いで山に登り、
山の土を袋に入れては村の前にある湖へ捨てました。

一平は毎日毎日やりました。
村の子供たちは一平を見て変な事をしていると笑いました。
でも一平が毎日山の土を運んでは前の湖に投げ入れました。
そしてまた山へ登って！

しかし見ているうちに何だか面白そうになりました。
子供たちも一平のまねをして山から土を運びました。
土を運ぶ人数も増えてきました。しかし大人はどうしても常識というものに
縛られていまいました。

そんな子供たちの様子を笑って見ているだけです。
それでも子供たちの様子を見ていると、
何かを変えることが出来るのでないかと期待をするようになりました。
そこで大人たちも土を運び始めました。

何十年も何十年もかかって！毎日毎日！
とても地道な作業の繰り返しです。

まさに千里の道も一歩から！
ある朝、村に朝日があたるようになりました。
こうして、半日村から一日村に変わったのです。

湖に入れた土によって湖は埋められそこが畑に変わりました。
とても不可能だと思われたことでも、
一歩一歩進めていくことが重要ですね。

この物語を子供たちがみんな一生懸命演技したのです。
みんなで歌い、そして各人の台詞を語りました。
とても生き生きとのびのびとしておりました。
小さな子供たちの大きく成長した姿を嬉しく思いました。
日頃からご指導していただいている学校の先生おかげです。
心から感謝申し上げます。

これからも色々と教育するのは大変ですが、
りっぱな大人になるための一番大切な時期です。
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
生徒の皆さんも参観された父兄のかたがた、
この演劇から沢山の事を学んだのに違いありません。

私も小さい村で育ちました。
米を作るために稲の苗を1株でも多く植えようと耕した。
家族みんなで暗くなるまで働きました子供の時を思い出します。

孫の成長の喜び、過去の楽しい、悲し、つらかった事が思い出された。
いつしか私の目には涙が潤んでいました。
恥ずかしいくらいに涙が出ました。
この劇は子供、大人に何を教えてくれたのでしょうか。
大人達も子供たちの演技、物語から勇気、感動、躍進等沢山いただきました。

少し色々な言葉を集めてみました。
※ 固定観念からの脱却 まずやってみる！
※ 共存共栄の精神。
※ 継続の尊さ ”継続は力なり”。
※ 努力に勝るものはない。
※ 他人の心を動かすのは言葉でなく行動だ！
※ ”ちりも積もれば山と成る”。
※ 何事にも努力の積み重ね”ローマは一日にして成らず”。
みんなの力で不可能を可能にしたことは素晴らしい。
私達もおおきな夢、希望、目標を持ちましょう。
何でもいから実行！
また今日から再出発、大変良い日になりました。

英語を学ぶは大変難しけれど頑張ってください。

ホームページを勉強の一つとして活用してください。

インターネットのホームページの原稿を皆様からお待ちしております。
宜しくお願いします。

英会話委員会ホームページ担当者より

